

高木工業 親子、ロボットカー作れたよ プログラミング学ぶ

【栃木】「サイエンススクールin栃木」が3日、

栃木工業高で開かれ、小学生の親子がロボットカーを製作しながらプログラミング

クなどを学んだ。

市教委と同校が連携した同スクールは今年で15年目。今回は新型コロナウイルス感染防止のため午前と

「リージャム」と、それを搭載したプログラミングロボットカー「SkyBerry CarGO(スカイベリーカーゴ)」を通してプログラミングなどを体験。

母親と参加した赤麻小6年の宇田川統矢君(12)は「プログラミングに興味があった。自分が知っている以上に楽しいものだと思った」と話した。(横松敏史)

生徒のアドバイスを受けながら、ロボットカーを組み立てたり、自動で動くプロ

プログラミングロボットカーの動作を確認する児童ら



午後に分けて開催し、市内の小学4～6年の児童と、その親が10組ずつ参加した。

児童たちは、同校の生徒らが商品化した教育用パソコン(こどもパソコン)の組み立てキット「SkyBerry JAM(スカイベ